

# 伊丹ルーテル教会 待降節第2 主日礼拝

## 2020年12月6日

### 前奏：

#### 主を待ち望む

1. 主を待ち望むアドベント 最初の蝋燭灯そう 主が道を備えられた この時を守ろう  
主の民よ 喜べ、主は近い
2. 主を待ち望むアドベント 第2の蝋燭灯そう 主がなされたそのように 互いに助けよう  
主の民よ 喜べ 主は近い

#### 招きのことば：詩編 85 編 9-14 節

わたしは神が宣言なさるのを聞きます。主は平和を宣言されます。  
御自分の民に、主の慈しみに生きる人々に 彼らが愚かなふるまいに戻らないように。  
主を畏れる人に救いは近く 栄光はわたしたちの地にとどまるでしょう。  
慈しみとまことは出会い 正義と平和は口づけし  
まことは地から萌えいで 正義は天から注がれます。  
主は必ず良いものをお与えになり わたしたちの地は実りをもたらします。  
正義は御前を行き 主の進まれる道を備えます。

#### 罪の悔い改めと赦しのことば：

**会衆：**私たちは生まれつき、自分中心、わがままで、心の中に本当の愛のかけらもありません。  
思いとことばと行いで、まことの神を軽んじて、となりびとにも愛のない、神の御前に  
罪人です。神様、本当にごめんなさい。私たちは祈ります。私たちを救うため あなたが  
お与えくださった イエス・キリストによって、どうかあわれんでください。アーメン。  
(短い黙祷を持ちましょう)

**牧師：**何でもおできになる神様は、あなたのすべての罪を赦すために、そのひとり子、イエス・  
キリストを十字架の上で死に渡してくださいました。ですから神様の御言葉をとりつぐ  
務めに任じられた牧師として、今、あなたがたに宣言 します。父と、御子と、聖霊のお  
名前によって、あなたの罪は赦されました。安心して行きなさい。アーメン。

#### み言葉の部

#### 使徒信条

われは、天地のつくり主、父なる全能の神を信ず。

われは、そのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死して葬られ、陰府(よみ)にくだり、三日目によみがえり、天に昇り、父なる全能の神の右に座したまえり。生ける人と死にたる人とを審かんがため、かしこより再びきたりたまわん。

**我は聖霊を信ず**、また、聖なるキリスト教会、すなわち聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、限りなきいのちを信ず。 **アーメン。**

### 祈り

愛とあわれみに満ちておられる私たちの父なる神様、

あなたは私たちのために救い主をお送りくださいました。クリスマスにお生まれになって人となってくださった神の子、イエス・キリストによって、私たちはあなたの愛を知りました。今年もクリスマスを待ち望んでいます。私たちの歩みを祝福してください。

私たちの人生には、山あり谷あり、いろいろな経験が訪れます。神さま、あなたは遠くにいて私たちにがんばるようにおっしゃるのではなく、イエス様を送ってくださって私たちを赦し、私たちを新しくして、わたしたちががんばる力を与えてくださいました。

自分中心に歩む中で、世の冷たさや厳しさに倒れそうになっても、あなたはその真ん中に来てくださって私たちに愛と希望の新しい心を与え、新しい目で人生や社会を見ることができるようになりました。

クリスマスを待ち望む今、今年もあらためてあなたの愛を思います。イエス様をお待ちしている間、この世にあってひとりひとりに与えられている毎日の使命を、今週も喜びをもって、堅実に、心を込めて果たすことができますように、私たちを鍛えてください。また、あなたの証し人として人々にイエス様の福音をお伝えすることができますように、どうか私たちを用いてください。そして、互いに愛し合い、高めあう一週間となりますように。

新型コロナ・ウィルスの感染はまた拡大しています。緊張感を保ちながら、その中でも御手にゆだね確信をもって、あなたの子どもとして安心して生き生きと生きる日々を与えてください。この祈りを、私たちの救い主であり主であるイエス・キリストのお名前によってお祈りいたします。 **アーメン。**

### 使徒書朗読：ペテロ第2の手紙3章8-15a節

愛する人たち、このことだけは忘れないでほしい。主のもとでは、一日は千年のようで、千年は一日のようです。ある人たちは、遅いと考えているようですが、主は約束の実現を遅らせておられるわけではありません。そうではなく、一人も滅びないで皆が悔い改めるようにと、あなたがたのために忍耐しておられるのです。主の日は盗人のようにやって来ます。その日、天は激しい音をたてながら消えうせ、自然界の諸要素は熱に溶け尽くし、地とそこで造り出されたものは暴かれてしまいます。このように、すべてのものは滅び去るのですから、あなたがたは聖なる信心深い生活を送らなければなりません。神の日の来るのを待ち望み、また、それが来

るのを早めるようにすべきです。その日、天は焼け崩れ、自然界の諸要素は燃え尽き、熔け去ることでしょう。しかしわたしたちは、義の宿る新しい天と新しい地とを、神の約束に従って待ち望んでいるのです。だから、愛する人たち、このことを待ち望みながら、傷や汚れが何一つなく、平和に過ごしていると神に認めていただけるように励みなさい。また、わたしたちの主の忍耐深さを、救いと考えなさい。

### **福音書朗読：マルコによる福音書 1章 1-8節**

神の子イエス・キリストの福音の初め。預言者イザヤの書にこう書いてある。「見よ、わたしはあなたより先に使者を遣わし、あなたの道を準備させよう。荒れ野で叫ぶ者の声がする。『主の道を整え、その道筋をまっすぐにせよ。』」 そのとおり、洗礼者ヨハネが荒れ野に現れて、罪の赦しを得させるために悔い改めの洗礼を宣べ伝えた。ユダヤの全地方とエルサレムの住民は皆、ヨハネのもとに来て、罪を告白し、ヨルダン川で彼から洗礼を受けた。ヨハネはらくだの毛衣を着、腰に革の帯を締め、いなごと野蜜を食べていた。彼はこう宣べ伝えた。「わたしよりも優れた方が、後から来られる。わたしは、かがんでその方の履物のひもを解く値打ちもない。わたしは水であなたたちに洗礼を授けたが、その方は聖霊で洗礼をお授けになる。」

### **讃美歌 225 番**

1. すべての人に宣べ伝えよ、神のたまえるみおとずれを。  
天(あめ)なる父はみ子をくだし、救いの道を開きませり。
2. **あまねくのべよ、よき知らせを、まことの幸を 求めつつも、  
むなしきものに誘われゆく 世のはらからにのべつたえよ。**
3. 十字架のうえに死にたまえる み子こそ永久(とわ)の救いなれや。  
神のたまえる この知らせを、地のはてまでも告げひろめよ。 **アーメン**

### **説教：「罪の赦しを得させるために」**

私たちの父なる神様と御子イエス・キリストから、恵みと平安が豊かにありますように祈りつつ、御言葉をとりつぎます。

クリスマスが近づいています。ですから、神さまが私たちの救い主としてイエス・キリストをギフトとして与えてくださったことを覚えます。マルコによる福音書 1章 1節では単刀直入にイエス・キリストが神の子であると宣言されています。4つある福音書のうち、マルコによる福音書にはクリスマスの物語が載っていません。書き出しから福音とは何か、福音を受け取る備えは何かが明瞭に書かれています。マルコによる福音書ではかえって印象的にイエス・キリストが人となられたクリスマスの意義を鮮明に告げています。

昔イスラエルには預言者イザヤという人がいました。民の危機に際して、神さまに呼び求めるようにと語りました。人は苦しいときに、内側から助けを叫び求めます。それは人が本来神さまに造られた存在で、うまくいっているときには意識しなくても、人生の一大事があったときに表面的には考えもしていなかった本当の自分の魂の叫びを発するのです。それは、小さいときから教育されて弱さを認めることを控え、抑え、乗り越えてきたと思い込んで、役割上そう演じてきた自分の本当の姿に引き戻される経験です。詩編の記者は苦しみに会ったことは幸いでした、それでわたしは神さまのおきてを学びました、とうたいました(119:71)。本来の自分の弱さや高ぶりから来る不注意、自分中心でものを動かそうとする罪深さに気がつかせていただく経験を得ることは、人生の実績や地位やお金などで得ることのできない、神さまの贈り物です。これはとびあがって喜ぶほど大きな祝福だったのだ、とあとでわかります。

マルコの福音書は、救い主の前に道をまっすぐにして準備するものが遣わされる、と預言したイザヤのことば(イザヤ40:8)を紹介します。そして、その人こそバプテスマのヨハネという人物であると言うのです。

バプテスマのヨハネという人がエルサレムの外の荒野にあらわれました。らくだの毛皮を着て皮の帯を締め、いなごと野蜜を食べていた、という野性的な人だったようです。この人がしたことは3つのことです。罪の赦しを得させるための悔い改めの洗礼を宣べ伝えたこと、全国各地から集まってきた人に洗礼を施したこと、そして自分のあとで来られるイエス・キリストを紹介したことです。

マルコの福音書は、その書き出しからイエス・キリストが来てくださったことが福音だと語りました。福音は、よい知らせということです。そして、バプテスマのヨハネはそのよい知らせを罪の赦しだと言いました。さらにバプテスマのヨハネは、自分はその罪の赦しを得させる悔い改めの洗礼を受けていると言ったのです。

私たちは体調が思わしくないとお医者さんに行きます。自分でどこがわるいかわからないので検査をしていただきます。お医者さんはデータや経験に基づいて病気を特定してくださいます。そのあとで治療の方針を考えてくださって、同意をしますとそのように施してくださいます。

神さまのもとに真実があります。罪の赦しがあります。私たちは神さまから作られたものなのに、まがった世の中で自分中心になって、神さまのことは見ないで生きています。しかし、バプテスマのヨハネは私たちが罪の赦しを受けるために、まず自分が神さまから離れていた罪びとであることを知り、悔い改めるようにと勧めました。悔い改めこそが罪の赦しをいただく道備えです。悔い改めとは、私は今まで神さまのことを思わず、自分中心わがままで、心の中

にほんとうの愛のかけらもありませんでした、ただしくは今もとこしえまでも神さまのただしい裁きを受けて当然のもので、と自覚して真実な思いで祈ることです。

実際に罪のために私たちの心はいつも自分が認められるために競争心や名誉欲を持ちます。恨みやねたみが出てきます。反対に人との交わりの中で劣等感に縛られ、生きる意欲を失います。損得だけで考え、本当の愛を知りません。神さまは私たちを祝福して、心豊かな人生を送るようとおつくりくださったのに、私たちが知らないで台無しにしてきたのです。罪の悔い改めは神さまの前でこれまでの見栄や強がりや開き直りから離れて、そのような原因は神さまから離れている自分の罪にあると自覚することです。

バプテスマのヨハネは悔い改めのしるしとして水で洗礼を授けました。しかし、自分の後で来る方は聖霊で洗礼を授けてくださる、と言って、イエス・キリストを紹介しました。

イエス・キリストはクリスマスに罪なくして生まれ、清い生涯をお送りになりましたが、ご自分の罪のためではなくあなたやわたしの罪をその身に負って、厳粛な神さまの裁きを受けてくださいました。それで神さまはイエス・キリストを自分の罪の代わりに裁きを受けてくださった救い主だと信じる者を、ただしく赦してくださいます。イエス・キリストの名前によって洗礼を受けるのは、イエス様が罪の赦しを与えるために死んでよみがえってくださったのはこの私のためだったという事実を受け取ることです。赦しのあるところにはいのちがあります。イエス様は三日目によみがえってくださって、私たちを縛っている罪や、死の恐怖や、悪魔の力を滅ぼしてくださったことを見せてくださいました。イエス様を信じて洗礼を受ける者には、罪の赦しとともに永遠のいのちが与えられます。これが聖書だけが私たちに与える福音、これがよい知らせです。

自分中心な思いから、自分の力では自由になることはできません。イエス様が私たちを縛る罪の力や縄目から自由にしてくださいます。新しい目で自分と自分の人生を恐れることなく見ます。新しい目で社会を見ます。新しい目で神様を、イエス様を見ます。神さまはあなたに届くためにひとり子なるイエス様を人として送ってくださいました。イエス様によって自由にされる経験が、あなたの本当のクリスマスとなります。

クリスマスを待ち望む今、私たちは悔い改めて福音を信じましょう。これまでと同じ私の人生が、自分の罪のために曇っていたことに気づかされます。そして神さまが私を大切にしてくださいまして、私のために救い主を与えてくださっていたことをあらためて感謝をいたしましょう。自分の力で神さまの恵みを勝ち取ることはできません。でも、聖書は反対に、神さまのことを考えないで来た私たちに、神さまの方から語り掛けてくださり、神さまがご自分との交わりを回復するために、私たちの罪を赦すみわざをイエス・キリストによって完成していただき

たことを教えてください。イエス様はわたしのため、あなたのために、人となられた神の子です。イエス様を通して愛なる神様のただしい赦しをいただき、神さまの子どもとされて、今日から改めて新しい人生を歩んでいきましょう。クリスマスを待ち望む今、私たちは悔い改めて福音を信じましょう。

人知をはるかに超えた神様の平安が、あなたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってください。アーメン。

### 聖餐の部

#### 主の食卓を囲み 讃美歌 21 81 番 1 節 2 節

1. 主の食卓を囲み、いのちのパンをいただき、救いの杯を飲み、主にあって我らはひとつ。

〈繰り返し〉 マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。X2

2. 主の十字架を思い、主の復活をたたえ、主のみ国を待ち望み、主にあって我らは生きる。

〈繰り返し〉

#### 主の祈り

天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあげさせたまえ。みくにを来たらせたまえ。

みこころの天になるごとく地にもならせたまえ。われらの日用の糧を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者をわれらが赦すごとく、われらの罪をもゆるしたまえ。

われらを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。

国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。アーメン。

#### 設定辞

「主イエスは、引き渡される夜、パンを取り、感謝の祈りをささげてそれを裂き、『これは、あなたがたのためのわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい』と言われました。アーメン。

また、食事の後で、杯も同じようにして、『この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい』と言われました。だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主の死を告げ知らせるのです。アーメン」

#### 配餐 讃美歌 205 番、260 番、262 番

#### 赦しの宣言

主イエス・キリストのまことのからだ、まことの血は、あなたをきよめ、あなたを強め、永遠のいのちにいらさせていただきます。あなたの罪は赦されました。安心していきなさい。

アーメン

**主の食卓を囲み 讃美歌 21 81 番 3 節**

3. 主の呼びかけに応え、主の御言葉に従い、愛の息吹に満たされ、主にあつて我らは歩む。  
〈繰り返し〉 マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国がきますように。 X2

**讃美歌 270 番 献金 献金感謝の祈り**

- 1 信仰こそ旅路を みちびく杖、よわきを強むる かなれや。  
心勇ましく 旅を続けゆかん、この世の危(あやう)き 恐るべしや。
- 2 わが主を頭(かしら)と 仰ぎ見れば、ちからの泉は 湧きて尽きず。  
恵み深き主の 御傷みまつれば、わずかに残る火 再び燃ゆ。
- 3 主イエスの御跡を たどりゆけば、けわしき山路も 安けきみち。  
いかで迷うべき、などて疲るべき、ますぐに御神へ 近づきゆかん。
- 4 信仰をぞ わが身の 杖と頼まん、するどき剣も くらぶべしや。  
世々の聖徒らを 強く生かしたる 御霊を我にも 与えたまえ。 **アーメン**

**頌栄：讃美歌 543 番**

主イエスの恵みよ、父の愛よ、御霊の力よ、ああ御栄えよ。 **アーメン**

**祝福の言葉**

仰ぎこいぬがわくは、私たちの主、イエス・キリストの恵み、父なる神の愛、聖霊の親しきお交わりが、御前に集う一同とともに、今日も、この一週間も、いく久しくとこしえまでも、豊かにありますように。 **アーメン**

**後奏**